

Profile



平沼 有梨

(ひらぬまゆり)

京都生まれ京都市育ち。4歳から音楽を始める。ものごころついた頃には、作曲して演奏する事が一番の遊びになっていたという。小中学生の頃の趣味は、絵を書くことと、オーケストラスコアを眺めること。最近では古代文学にはまっている。

音楽大学在学中より全国各地でコンサート活動を始め、これまでにヨーロッパ各地、アメリカ、東アジア、東南アジアなど、海外ツアー、テレビ出演等も多数。愛知万博やSONY、NISSAN、ミツカンなどの企業イベント、New Balance、住友林業、木下工務店などのCM、テレビ番組への楽曲提供などでも活躍中。また、古澤巖、佐藤竹善、森山良子、TFC(東儀秀樹、古澤巖、coba)などのアルバム曲アレンジなどにも携わる。

2013年、ルーブル美術館で行われたNoz Beauty Collectionでは、音楽制作と演奏を担当。同年、アイズショー「プリンスアイズワールド2013」の音楽制作と演奏を担当。荒川静香の演技曲「Nella Fantasia」、鈴木明子のソチ・オリンピックSP曲「愛の讃歌」音楽制作及び演奏を担当した。最近では、フィギュアスケートのみならず、新体操やバントワリングなどの競技でも彼女の楽曲が使用されている。KBS京都、BS11をはじめ各局でオンエアされたTV番組「西国三十三所 観音巡礼 折りの旅」テーマ曲「折りの旅」担当。現在、DVD発売中。また2019年10月より同局他各局で放送の、全国の神社を巡るTV番組「こりやくさん」テーマ曲及び挿入曲担当。寺社仏閣に囲まれて育った環境に加え、黒野本宮大社、金峯山寺などでの奉納演奏などを切掛けに、近年、聖地と自身の音楽との関わりが増している。

生まれ故郷である京都の、さまざまな文化と自身の音楽とを融合しながら、発信を続けている。

これまでに出版された楽譜集多数。最新アルバムは、「PARALLEL」。

www.yurihiranuma.com/



向井 航

(むかいわたる)

1980年札幌出身。東京芸術大学音楽学部附属音楽高校卒業。同大学を経てハンガリー国立リスト音楽院に留学。

帰国後、Vn室屋光一郎と「クラスタシア」を結成。5枚のアルバムをリリース。ソリストとしてこれまで札幌交響楽団、関西フィル、Georgia sinfonietta、Tbilisi konservatoriy orchestra、京都フィルと共演。国内外のオーケストラからゲスト首席奏者として招聘され、Georges Enesco Festival、Tbilisi baroque festivalなど世界各局で演奏する。

映画「ラプラスの魔女」、NHK大河ドラマ「真田丸」でのチェロソロなど、劇伴音楽、CM、J-pop、海外映画、海外アーティストの多くの作品で録音している。

2012年、Martin Stanzelheitとチェロロックバンド「CANTHANANA」を結成し、アルバムCD「Cellimate」「A minor attitude」をリリース。

関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席チェロ奏者、つまきわたるとはなこのトリオ、久石譲Future orchestra classics、ナガノチェンバーオーケストラ、ハーモニーホール福井レジデント弦楽四重奏「DINO quartet」メンバー。



古澤 巖

(ふるさわいわお)

葉加瀬太郎、高嶋ちさ子との「三大バイオリニスト」及び、東儀秀樹、cobaとの「TCF55」及びヴィルトゥオーゾ・ベルリンとのXmasツアーの全てが2019年の公演で終了。

2020年からはTAIRIKUプロデュースの「品川カルテット」及び「バイオリンの夜」はそのままだけに、更に新たなステージが用意されている。

最新アルバムはベルリンフィル・メンバーとの「Impida〜濡いの雨」(HATS)、COCO FARM WINERY取組役。2019年フーリア州サンマルツァーノ・ワインアンバサダー、日向へバス大使、足利輝き大使、観音寺ふるさと応援アンバサダー。

年間150公演の他、洗足学園音楽大学客員教授。

「チームテラモス」でサーキット修業中。

宗次ロケションより最高峰のストラディヴァリ「サン・ロレンツォ」永久貸与中。

趣味はサーフィン。



祝 丸

(のりまる)

2004年、和太鼓デュオ「黒拍子」を結成。

古典芸能家や民俗芸能、国内外の演劇やコンテンポラリーダンス、そして現代美術家らとの共演を通して、日本の太鼓音楽や舞台における創造活動を展開している。

2009年より海外のアーティストとの共同制作にてカナダ・フランスツアーを展開。また韓国において舞踊と音楽の即興公演などに多く関わる。

その他、NHKの大河ドラマなどに楽曲提供・出演も行うなど、その活動は多岐にわたる。

日本の太鼓音楽を主軸としながらも、独自の演奏スタイルと即興性を持ち、邦楽に促されることのないクロスオーバーな活動は観るものに新たな風景を提示する。